

1. 意見

別紙

-----

-----

-----

-----

-----

-----

私の住む中名寄は、南北を緑豊かな山に囲まれ、北側の山裾を東から西に清流名寄川が流れ、稲作と酪農を営む純粋な農村地域です。

開拓当初から名寄川との係わりは大きく、多くの恩恵を受けると同時に度重なる氾濫との戦いでもありました。名寄川流域の肥沃な土地からは良質な農産物が生産されますが、逆に川が氾濫すると大きな被害を受けてきました。中名寄が一大貯水池と化した昭和30年の大水害は幼少の私にも鮮明に覚えている大災害でした。この時は尊い人命が犠牲になっています。現在は堤防が築かれていますが、ひとたび大きな集中豪雨があればこれで安全とは言えないと思っています。

また、当地区には名寄川を水源とする水道施設が無く、そのため生活水は地下水かまたはボウリングによる簡易給水施設に頼っていますが、水質が悪かったり水量が不十分であったりと大変な不便を来しているのが現状です。

地域の基幹産業である稲作については、その灌漑用水の水源を名寄川から取り入れています。季節により水量が増減し管理する者は大変です。少しでも安定した水量になって欲しいものと思います。併せて昨年若手担い手を中心に水田基盤整備事業実施に向け取り組みを始めました。その理由は老朽化した現在の用水路では今後の稲作は困難であると判断したからです。安定した灌漑用水の確保のための膨大な投資を伴う基盤整備事業への取り組みと言えましょう。

名寄川流域で生活する者として、水害の防止と生活水や農業用水の安定的な確保の観点から、サンプラムの早期完成を望んでいます。

平成19年2月19日

名寄市

鷲見明久